

パソコンや携帯電話の普及で文字を書くことから遠ざかった昨今。墨汁を用意して筆を握る機会となるとまして少ない。だが最近では若手書道家らが書をアートとしてとらえ、インターネットで日記風ホームページのブログなどを通じて作品や情報を発信、一般の人も学び楽しみやすくなってきた。イメージが変わった書を見に行こう。

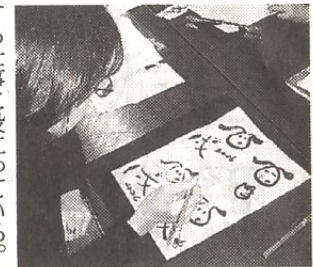
「書愉道」。武田双雲さんが神奈川県藤沢市にある教室に掲げる文字だ。教室では二十〜三十歳の生徒が和やかに書を楽しんでいる。課題から生まれた作品には絵や詩も交がり、個性あふれる。武田さんはNTTで中小企業のIT(情報技術)化を担当、ネットを駆使して書の楽しみを啓発

「書道」をアート感覚で

インターネットで情報発信している書道家・団体

雅号・名称	主な活動内容
武田双雲 (ただけ・そうらん)	愛・地球博の中心パピリオンの題字作成。ワークブックを発売、教科書にも掲載
http://fudemojiya.com/futaba-mori/souun.htm	
成澤翠玲 (なりさわ・すいれい)	ロゴ制作などの商業デザインができる書道家育成のため書道普及協会を設立
http://www.narisawasuirei.com	
矢部澄翔 (やべ・ちょうしょう)	自然の中に書を飾る。教室で指導しながら、名刺デザインやイベントなどへ出張も
http://www.yabe-chosho.com	
こばやし薫游 (こばやし・ろゆう)	紙や生地にこだわり洋間などにも対応できるインテリアアートとして作品を制作
http://zavomya.cab.jp	
木下秀翠 (きのした・しゅうすい)	ブログ(日記風ホームページ)で作品や感想、写真を発信。掲示板でコミュニティー育成
http://mycasty.jp/syusui/index_blog2.html	
山内美鳳 (やまうち・びほう)	桂田美ブライダルショーでウェディングドレスに書を書き込むパフォーマンスを披露
http://www.naomi-produce.com	
日本インターネット書道協会	国内外の書道展の展覧やホームページで公募書道展を開催
http://www.nisk.jp	

ブログなどで作品発信



デザインを取り入れた書(成澤さんの教室)

する仕事に役立っている。「書は感動を伝える表現ツール」と話す。最近では映画タイトルや伊勢神宮からも依頼を受け、ファン層が広がっている。

つくばエクスプレス(TX) 開通記念に浅草寺西門に掲げられた「奥山門」を揮毫(きごう)した成澤翠玲さんはOLなどを経て書道家に。カラスプレーで色付けしたデザイン文字や英語を取り込んだ柔らかな

書体が女性に人気だ。「書には自分を見つめ直し、心を癒やす効果もある」。来年三月には国連本部で開かれるイベントに参加、書の魅力を海外に伝える。インターネット書道協会

に加盟するニスク(東京・千代田、滝裕子社長)は若者の書道人口を増やそうとネット教室を運営する。課題をスキャナーやデジカメラで取り込んで送ると、著名な講師が朱筆で添削した電子データが返る。動画で講師の運筆も確認できる。

IT化で書は逆にその希少性と芸術性が増している。日展会員で大東文化大学専任講師の高木聖雨さんは「書には技術的にうまい字と人生経験がにじむという字がある」と説明。絵画的な要素を持つ魅せる書の広がりには「書の社会性を広げるのに大きな役割を持つ」と期待している。